

非漢字圏新住民の中国語使用に関する現状と課題 –台湾の事例–

服部明子(三重大学) 鈴木崇夫(愛知淑徳大学) 黄文哲(三重大学)

1. 研究目的

- ・人口減少や社会状況, ポストコロナ時代を見据えた移住者への言語教育・支援が課題
- ・非漢字圏新住民の中国語能力および学習に関する意欲, 阻害要因について, 現状と課題をデジタル格差の視点から考察

2. 背景 1990年代以降, 移民が急増. 少子高齢化社会

- 就労者: 在留において中国語能力は問われない.
- 公的支援は多言語対応や通訳のみ
- 新住民: 新たな社会の一員として受入

- ・新住民発展基金(2015~)
- ・新移民生活輔導計畫(1999年)
- ・全国新住民火炬計畫(2012年)

外国人配偶者の女性を対象にした教育
台湾社会への編入 言語能力の向上より,
家庭における役割を果たすことが主な目的(許, 2016)

- ・社会適応, 福祉, 言語・文化を学ぶ機会の提供, 子育て支援, 母語を尊重する政策, 多言語対応
- ・ICTツールの推進, デジタル運用能力の促進

「新住民」とは

- ・「外籍配偶(台湾人の外国人配偶者)」外国人居留証や永住者証明書を保有, 中国大陸, 香港, マカオ出身の配偶者.
- ・台湾人口約2,345万人のうち「新住民」は約57万人(2021年8月)中国大陸や香港・マカオ出身の配偶者を除くと, 非漢字圏出身者(ベトナム, フィリピン, インドネシア, タイ, ミャンマー, カンボジア, マレーシア)は約20万人

2008年~「新住民のデジタルディベロップメントの現状および
ニーズ調査報告(新住民數位發展現況與需要調査報告)」

- ・新住民のインターネット使用等の状況とニーズの把握
 - 2014年調査: 2008年より全体的に向上したが, 全国平均(12歳以上)には及ばない
 - 2017年調査: 新住民の91.5%がインターネットを使用(2014年調査より19.4%上昇)
 - ・新住民が台湾社会, 母国, 親族関係で円滑な関係をどのように構築するか
 - ・新住民の子どもへの影響や次世代への影響について
- 【参考】「新南向政策(2016~)」における「新住民言語」の設置(黄, 2020)

3. データ (2020年最新調査)

- 対象者: 新住民 2,242名 (全国22県市)
- 国籍: 中国大陸, ベトナム, インドネシア, その他(フィリピン, タイ, マレーシア, カンボジア, ミャンマー, インド等)
- 北部1,003名

中部508名
南部496名
金馬地区99名
東部136名

- 調査方法: 電話インタビュー(CATI)
- 使用言語: 中国語, 出身国の言語, 英語

質問票(項目): 基本的属性(17)および主項目(43)

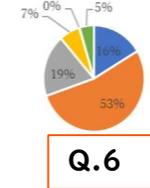
- ①ICTアクセスおよび使用(ICT近用, 使用與素養)
 - ②教育(教育與技能)
 - ③経済状況(所得與財富)
 - ④就業(就業)
 - ⑤ワークライフバランス(工作與生活平衡)
 - ⑥健康状況(健康狀況)
 - ⑦社会とのつながり(社會聯繫)
 - ⑧ガバナンスと市民参加(政府治理與公民參與)
 - ⑨ネットセキュリティ(資訊安全)
 - ⑩幸福感(主觀幸福感)
 - ⑪言語能力(語文能力)
 - ⑫母国とのつながり(母國聯繫)
 - ⑬子どもの教育とデジタルニーズ(子女教養數位能力需求)
 - ⑭個人の人的リソース(個人背景資源)
 - ⑮政府のデジタル教育機会の提供に関するニーズ(政府免費資訊課程需求)
- 【参考】OECD digital well-being

言語教育に関連すると考えられる主な項目を抽出, 記述統計

- ・中国語への理解度・運用能力(Q.6)
- ・パソコンやスマホ使用時に入力する言語(Q.7)
- ・政府による無料オンライン学習コースへのニーズ(Q.40)
- ・中国語と母国語の両方に対応するデジタル教材の利用(Q.43)

4. 結果および考察

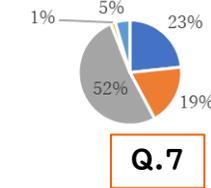
- 全くわかりません
- 大部分理解している
- 知らない/回答したくない



Q.6

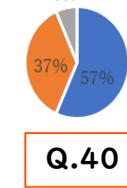
- 基本的な語彙しかわかりません
- 全く問題ありません
- skip logic

- 中文
- 母國語言
- 跳答



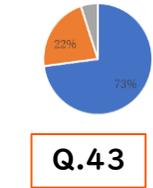
Q.7

- 英文
- 不知道/拒答



Q.40

- 思
- 不想
- 不知道/拒答



Q.43

- Q6 非漢字圏出身の新住民は台湾人配偶者または家族の協力を得ない限り, 生活上の支障が生じ得る.
- Q6, Q7 中国語の理解度・運用能力と入力言語: カイ2乗検定による分析の結果, 有意差が認められた($p < 0.05$).
- Q40 新住民に学習意欲が窺える一方, 無料オンライン学習コースの提供が中国語学習につながることも示された.
- Q43 教材の多言語対応についての認識は現時点の学習意欲に関わらず, 歓迎, 積極的であることが窺える.

5. 今後の課題

従来の言語教育や支援の方法が困難な状況でも, 非漢字圏出身の住民を対象にした効果的な教育・支援とは何か

- 台湾における調査 ①新住民自身の意識, ②行政関連機関等における政策立案との関連, ③教育機関等における実践との関連
- 日本国内における調査 ①定住化する地域の外国人等に対する日本語教育の状況, ②日台地理的条件や社会的背景等の相違点・共通点の整理

中華圏出身者の影響を排除し,
非漢字圏新住民891名を対象に分析